

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
家庭基礎	国際交流科	1	2	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）	生活学Navi

科目の到達目標	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。
---------	---

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	衣生活をつくる	被服の役割を考える 被服を入手する 被服を管理する これからの衣生活	衣生活にかかわる資源の有効利用について考える。 被服材料の特徴について知る。 被服の手入れの仕方を知り、実践できるようにする。 衣料品の再資源化について理解する。
	5		衣服製作実習 ペットボトルホルダーをつくらう	生活する中で必要な基本的製作技術を身に付ける。
	6	食生活をつくる	日常食の基礎・基本 調理実習	日常食の基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。
	7		ホームプロジェクトの実施	家庭における生活課題 計画・準備
二	9	生活を設計する	実践したことを発表する	生活課題解決のために実践しレポートにまとめる。
	10	食生活をつくる	食生活の課題について考える	現代の食生活が抱える問題点を理解し、解決法を考える。
			食事と栄養・食品 食品の選び方と安全 調理実習	食品の栄養素とからだの成分について知る。 五大栄養素とその食品を理解する。
	11	高齢社会を生きる 子どもと共に育つ	高齢者についての理解 高齢者問題、福祉問題 保育への興味関心	高齢者について理解し関心を持つ。 高齢者問題や福祉問題を学び将来的な取り組みを考える。 VTR視聴体験学習を通して子どもを理解し興味関心を持つ。
12	自分らしい人生をつくる	現代における家族の特徴 家族のあり方 家族や社会とかわる人生	自分自身の生活や家族を題材に現代家族の特徴と実態を学び家族のあり方について理解する。 家族や社会とかわりながら今後の人生について考える。	
三	1	住生活をつくる	資源の有効利用 住生活における健康・安全 快適な住まい方 家庭の経済生活	健康・安全・快適な住まい方を身近な題材をもとに考える。 家庭の経済生活や現代の消費生活の課題を理解する。
	2	経済生活を営む	消費生活の課題 自立した消費者と意思決定 環境への考慮	意思決定の大切さと環境への考慮の重要を理解する。
	3			

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指し意欲的に学習に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などについて見直し、課題を見付けその解決を目指して思考を深めている。適切に判断し行動できる。	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、実践的な学習を実生活の場で生かし、その様子を観察したり、成果を表現したりできる。	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、理解を深められる。
	◎評価の方法			
「評価の4観点」に基づいた評価、授業中の発言や態度、実習状況、課題の提出、小テスト、レポート、定期考査の成績、出席状況を総合して評価する。				